

騒音計について

用語と機能の解説

■周波数 (=ヘルツ [Hz])

音の高さを表す単位。人間が知覚出来る周波数(可聴域)は一般的に20~20kHzとされています。

音の大きさは音圧 (=デシベル [dB]) で表現され、同じ音圧でも周波数が異なると人間の耳には聞こえないこともあります。(例: 超音波、犬笛など)

■周波数特性

- ・ A特性: 人間の聴覚に近く、一般的な騒音測定にはこちらを uses。
- ・ C特性: 衝撃音や低周波音の測定に用います。
- ・ Z特性: "FLAT"とも呼ばれ、音響測定などに用います。(※カスタム製品では未対応)

■応答速度

- ・ FAST: 人間の耳の応答速度に近く、一般的な騒音測定にはこちらを uses。
- ・ SLOW: 変動する騒音の平均レベルを求める際に用います。

よくある質問

■例) エンジンの騒音はどれくらいですか?

右上の表をある程度の目安とすることができますが、実際には同じ音を測る場合でも測る場所や距離によって変わります。

■検定は付いていますか?

カスタムの騒音計には検定は付いておりません。取引証明や自動車の車検時の騒音測定は検定付騒音計で行わなければいけませんので、弊社騒音計では対応不可となります。

騒音レベルの目安

騒音レベル (dB)	程度例
140	ジェットエンジンの近く
	肉体的苦痛の限界
120	聴覚としての限界
	バイク加速時 1m の距離
100	車クラクションから 3m の距離
	電車のガード下
80	地下鉄内
	街頭
60	デパート内、普通の会話
	静かなオフィス
40	静かな住宅街のラジオ
	深夜の郊外住宅地
20	ささやき声
	呼吸の音
0	感覚の限界

※上記は目安です。

データロガー騒音計 SL-1373SD



- SDカードデータロガーデジタル騒音計。
- SDカード(別売)を装着することで簡単にデータの記録ができ、PCなどにCSV形式で取り込むことも可能です。

IEC61672 class2

標準価格 本体 **¥41,800** (税別)



一般仕様

23°C±5°Cのとき

測定範囲	【A特性】30~130dB、【C特性】30~130dB
分解能	0.1dB
動特性	FAST(200ms)、SLOW(500ms)
測定レンジ	Lo:30~80dB、Med:50~100dB、Hi:80~130dB、Auto:30~130dB
測定精度	±1.4dB(1kHzにて)
周波数範囲	31.5Hz ~8kHz
使用温湿度	0~+50°C、85%RH以下 (但し、結露のないこと)
保存温湿度	-20~+60°C、85%RH以下 (但し、結露のないこと)
寸法・重量	本体:約W68×H245×D45mm、約445g(電池を含む)
電源	単3形乾電池×6 または ACアダプター(別売)
電池寿命	通常測定時:約145時間(バックライト消灯、アルカリ電池使用時)、データロガー機能動作時:約60時間(バックライト消灯、アルカリ電池使用時)
付属品	取扱説明書(保証書付)、風防スポンジ
校正	可
オプション	ACアダプター:VSM-932EK(P.95参照)、騒音計用校正器:SC-942(P.44参照)
JAN	4983621180039

SD カードを装着して、測定結果を記録することが可能です。SD カードの記録データは、CSV ファイルとして Excel に取り込みが可能です。



A1		Place			
	A	B	C	D	E
1	Place	Date	Time	Value	Unit
2	1	2009/10/16	16:47:05	60.8	dB
3	2	2009/10/16	16:47:07	66.9	dB
4	3	2009/10/16	16:47:09	68.8	dB
5	4	2009/10/16	16:47:11	71	dB
6	5	2009/10/16	16:47:13	82.3	dB
7	6	2009/10/16	16:47:15	92.3	dB
8	7	2009/10/16	16:47:17	93.1	dB
9	8	2009/10/16	16:47:19	93.1	dB
10	9	2009/10/16	16:47:21	89.8	dB